

DPP-4 阻害薬シタグリプチンの血圧，尿中ナトリウム排泄量，腎糸球体濾過量に及ぼす影響について

なが み はる ひこ くろこうち かず たか やま がた しん ご
 長 見 晴 彦^{1,2)} 黒河内 和 貴²⁾ 山 形 真 吾²⁾
 たけ だ ふみ のり き じま つね たか いし ばし ゆたか
 武 田 文 徳³⁾ 木 島 庸 貴⁴⁾ 石 橋 豊⁴⁾

キーワード：シタグリプチン，尿中ナトリウム排泄量，腎糸球体濾過量

要 旨

2 型糖尿病患者において DPP-4 阻害剤シタグリプチンの血圧，尿中 Na 排泄量，estimated Glomerular Filtration Rate (e-GFR) に及ぼす影響について検討した。2014 年以降の当院通院中 2 型糖尿病患者でシタグリプチン 50 mg 投与 24 症例を対象とした。対象患者に同剤投与前，投与後 3 ヶ月，6 ヶ月，9 ヶ月，12 ヶ月にて HbA1c 値，体重，外来血圧，随時尿の 24 時間 Na 排泄量，eGFR を測定した。対象患者は平均年齢 62.1 歳，平均 BMI 26.6 kg/m²，平均 HbA1c 7.2% であり HbA1c は投与前 7.2% から 6 ヶ月後 6.7%，12 ヶ月後 6.5% と低下し，体重は投与前 68.9 kg から 6 ヶ月後 67.6 kg，12 ヶ月後 67.8 kg と推移し，外来血圧は収縮期血圧が 140 mmHg 以上の症例群では 6 ヶ月後 130 mmHg，12 ヶ月後 128 mmHg と低下し尿中 Na 排泄量は投与前 99.5 mEq/日，6 ヶ月後 119.8 mEq/日，12 ヶ月後 125.6 mEq/日と上昇，eGFR は投与前 88.8 ml/min/m，6 ヶ月後 84.3 ml/min/m，12 ヶ月後 78.9 ml/min/m と低下した。以上の結果よりシタグリプチンの尿中 Na 排泄促進に伴う血圧低下作用と糸球体過剰濾過の抑制作用が示唆された。

はじめに

平成 24 年度国民健康，栄養調査によれば糖尿病患者，予備軍は 65 歳以上の高齢者糖尿病患者を中

心に高い水準にあり，その要因として過栄養に伴う肥満により，肝臓，骨格筋，脂肪組織など広範臓器でのインスリン抵抗性の存在や膵 β 細胞機能不全が指摘されている¹⁾。一方，2 型糖尿病治療については Action to Control Cardiovascular Risk in Diabetes (ACCORD) 試験や Veterans Affairs Diabetes Trial (VADT) 試験から単に血中 HbA1c 値低下が目標ではなく，低血糖や体重増加を来さず血糖変動の少ない良好な血中

Haruhiko NAGAMI et al.

- 1) 長見クリニック
 - 2) 島根大学医学部総合医療学講座大田総合医育成センター
 - 3) 大田市立病院内科
 - 4) 島根大学医学部総合医療学講座
- 連絡先：〒693-8501 出雲市塩冶町 89-1
 島根大学医学部総合医療学講座